



図書館マ-キュリ-新聞

2024年5月29日
復刊 第20号

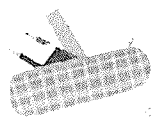
若松商業高等学校

あなたの読みたい本が若商図書館に入るかも…

購入希望調査を実施します！

若商図書館では年2回全利用者を対象に購入希望調査を行っています。
図書委員より用紙が配付されますので若商図書館に入れてほしい本があれば記入して下さい。記入した用紙は各クラスの図書委員に提出するか、直接図書館に提出して下さい。

※切りは 6月7日(金) です。



5月

図書委員のオススメ本

ここで紹介された本は、すべて若商図書館にあります。

『アリス殺し』 小林 泰三 著

最近、不思議の国に迷い込んだアリスという少女の夢ばかり見る主人公、栗栖川亜理。ノンファンタジー・ダンファンタジーが墜落する夢を見たりある日、亜理の通う大学では玉子というあだ名の研究員が墜落死していた。その後も夢と現実が互いを映し合うように、怪死事件が相次ぐ。ええ、事件を捜査する三月兔と帽子屋は、最重要容疑者にアリスを名指した。今話が多いので、本が苦手な方におすすめて3年 図書委員

『世界でいちばん透きとおった物語』

柳井 光 著
この本の物語は、腹違いの兄から「親父が死ぬ間際に小説を書いていたらしい」と主人公に連絡が来たことから始まります。そこからは主人公は、様々な謎に迫っていきます。この本は、「謎があり、それを解く」というミステリーやサスペンス要素があるだけではありません。紙の本ならではの面白さ仕掛けもあり、普段とは違った読書体験ができる1冊となっています。ぜひ読んでみてください。2年 図書委員

『ラブカは静かに弓を持つ』 安増美緒 著

主人公の橋は音楽著作権連盟に勤めている25歳の青年です。彼は、著作権料金を支払わずに著作権の切れぬ曲を使って指導しているペン型録音機を使い、年間潜入捜査をします。スパイもの特有の緊張感と、心温まるストーリー性を同時に味わえる傑作です。とても面白い作品なので、ぜひ読んでください。1年 図書委員

『坊っちゃん』 夏目 漱石 著

子供の頃から乱暴ばかりしている青年が、四国の旧制中学校に数学の教師として赴任することになる。職場では校長に「狸」や教頭へ「赤ペン」などとあだ名を同僚につけていく。正義感からずるいことをした教頭を懲らしめ、学校を辞めるまでの1ヶ月を描いた物語。この本で印象に残った場面は、青年が泊まっている宿のベットのイナゴがでてきたところ。自分は虫が苦手な青年が、虫に強くなりました。3年 図書委員